

バイオ界面水の役割と機能

－ 生物相分離における界面科学 －

趣旨：

相分離生物学とは、タンパク質の機能単位を分子ではなく液滴とみなして生命現象を統一的に理解するための新しい学問分野である。本講演会ではこの新学問分野が対象とする生命現象における界面水の役割に関して議論する。溶質(材料)と溶媒(水)の相互作用を界面科学の視点から理解を深め、生体機能材料設計の指針について考える。

14:00－14:05 開会挨拶

田中 賢 (九州大学先導物質化学研究所)

14:05－15:05 「バイオマテリアルの表面構造と界面相互作用」

林 智広 (東京工業大学 物質理工学院材料系)

小休憩

15:10－16:10 「分子分光法でみるバイオ界面の水の構造」

森田成昭 (大阪電気通信大学 大学院工学研究科)

休憩

16:25－17:55 「相分離生物学」

白木賢太郎 (筑波大学 数理物質系)

17:55－18:00 閉会挨拶

穴田貴久 (九州大学先導物質化学研究所)

18:00－18:30 総合討論

日時

2021年12月17日 (金) 14:00－18:30

会場

九州大学伊都地区 先導物質化学研究所 1階セミナールーム
(〒819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学構内CE41棟)

参加費

無料

主催 人・環境と物質をつなぐイノベーション創出 ダイナミック・アライアンス 界面近傍水サブグループ

共催 九州大学 先導物質化学研究所

文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究 (研究領域提案型) 「水圏機能材料－環境に調和・応答するマテリアル構築学の創成－」

問合せ/申込先

九州大学 先導物質化学研究所 田中 賢 研究室

TEL : 092-802-6238

E-mail : softmaterial-contact@ms.ifoc.kyushu-u.ac.jp